

海外先進地行政調査及び姉妹都市表敬訪問報告書

平成 20 年 7 月 1 日(火)～7 日(月)

派遣議員 都築國明、近藤正俊、松浦満康

■敬老シニアヘルスケア施設（ロサンゼルス市）

60 歳以上の主に日系人を対象としたコミュニティ施設。であり、中間養護施設と特別養護施設も併設している。1975 年にオープンした当初は日系一世の方が主な対象であり、運営もしやすかったが、二世・三世の世代となり自己資金の少ない人が増え、寄付金等も少なくなるなど、運営が厳しくなってきた。将来的には日系以外の入所者を受け入れることになるだろうということである。



■ ロサンゼルス港（ロサンゼルス市）



アメリカ国内でも最大級の規模の港湾管理施設。港では船舶・トラックなどのディーゼルエンジンの排気ガス等による大気汚染を減少させる為のプロジェクトを進めており港湾で発生する二酸化炭素を減らす取り組みを行っている。その内容は港に出入りするトラックや、構内で使用する重機やトラックを環境負荷の低いものに限定したり、停泊中のエンジン停止を求めたりと、かなり厳しい規制になっている。その結果、湾内の環境は向上し、アザラシが住み着くなどの成果もあがっている。これだけの環境対策が実施できる背景には、ロサンゼルス港が公共機関にもかかわらず、独立採算制をとっていることにあると思われる。

■ハンチントンビーチ市表敬訪問及び市内公共施設

姉妹都市であるハンチントンビーチ市役所を表敬訪問し、クック市長の出迎えを受ける。木村議長のメッセージを披露し、議場なども見せてもらう。議場では議員同士が議論を行い、議員は 7 名でその中から市長が選ばれるなど、日本と異なる制度を持っている。

市内の消防署、海難救助隊本部及び図書館・セントラルパークなどの施設を訪問。翌日は市の一大行事である独立記念パレードを見学、またその後は市の職員ギセラさん宅のパーティーに招かれ、多くの市民の方と交流を深めることができた。ギセラさんには施設訪問時にも各施設を案内していただくなど、二日間を通し大変お世話になった。

